

2012-B					
拠出金・基金の 名称:		経済協力開発機構・科学技術指標専門家会合への任意拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 経済協力開発機構・科学技術指標専門家会合(OECD・NESTI)					
【所管官庁担当局課・室名】: 文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 NESTIの活動の重要性を鑑み、邦人職員のOECD事務局への派遣					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成24年度	20,384	182	-	1ユーロ = 112円	0
平成23年度	21,840	182	-	1ユーロ = 120円	0
平成22年度	24,388	182	-	1ユーロ = 134円	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 ・NESTIはOECD/CSTP(科学技術政策委員会)の下部組織のひとつであり、科学技術関連指標について、国際比較のための枠組づくりの観点から、統計調査の方法や指標の開発等に関する検討を行なっている。国際社会のグローバル化が進み国際競争が激化している中で、NESTIで進めている国際比較可能な科学技術指標の整備は、我が国の科学技術・イノベーション政策を推進する上で必要不可欠であると評価している。 ・平成24年の活動としては、2012年6月の会合において、2011年からの2か年計画で実施している各タスクフォースの活動について報告を行い、2012年後半におけるさらなる活動の計画と、CSTP(科学技術政策委員会)の2013年-2014年PWB(作業・予算プログラム)のもとでのNESTIの活動について決定した。とりわけ、科学技術関連指標の国際的なマニュアルであるFrascati Manualの改訂の作業に着手することを決定するとともに、改訂作業の進め方についても議論された。Frascati Manualは総務省の科学技術研究調査で基準として利用される等、我が国の関係する統計調査とも関連が深いことから、引き続き、NESTIでの科学技術関連指標に関する取組について、積極的な推進を継続されたい。					